

らいぶらいい・にゅーす

坂崎亜衣先生(1-4担任・家庭科)にインタビューしました!

1-4高田・永田

～おすすめの本～ 『西の魔女が死んだ』(梨木香歩)

小学生の時に図書室で借りて好きになった1冊です。
読み終わったあとになんとなく優しい気持ちになる本です。



～高校時代の思い出～

高校生の時は少し本から遠ざかっていました。たまに読みたくなった時に一気に読んで気分転換していました。



お知らせ

おおづ図書館に2, 3年次生図書委員が作製したPOPが展示されます。(場所の関係で全部ではありません)

展示期間: 11月上旬(準備次第)～11月30日(水)



人気ランキング 9月～12月

- 1位 『終末なにしていますか?忙しいですか? 救ってもらっていいですか?』シリーズ(枯野瑛)
- 2位 『その終末に君はいない。』(天沢夏月)
- 3位 『前略、初恋の彼女が生き返りました。』(天沢夏月)
- 4位 『嘘嘘嘘、でも愛してる』シリーズ(川田戯曲)
- 5位 『余命3000文字』(村崎羯諦)



先月(10月)の貸出

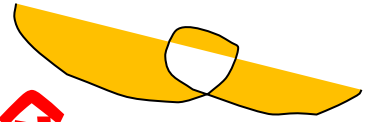
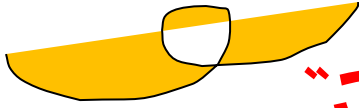
ハロウィンイベントに63名の皆さんが参加してくれました。ありがとうございました!

ありがとう



1年次	188冊	(多読クラス	4組	57冊)
2年次	91冊	(多読クラス	3組	31冊)
3年次	939冊	(多読クラス	7組	724冊)

図書館には様々な本があります。
ぜひ活用してください。



“これなら読める本” 紹介

「読書は苦手」「そもそも本を読んだことがない」人が「読めた！」と言った本を紹介します。全部読もうと思わない、読みたいところだけ読んでみるのが読書苦手克服ポイントです。



『5分後に意外な結末』シリーズ

(学研教育出版)

怖い、感動、ミステリーなど様々な話が入っていて、みんな最後に意外な結末が待っているから一度読むとハマるらしいです。



『ONEPIECE』シリーズ (尾田栄一郎)

映画、マンガの小説版。「映画を見たからいい」という人も映画では見逃していた場面も書かれていますので読んでみてください。



『54字の物語』シリーズ (氏田雄介)

最初に54文字のお話。次のページに話の意味が書かれている人気シリーズ。最初読んだだけで意味がわからなかった話も解説を読むと納得！



『お寺の掲示板』 (江田智昭)

お寺の門前に書かれた標語見たことありますか？全国から集められた、すごい標語が胸に刺さります。読んだ人の感想は「寺の個性が強かった」そうです。



『意味がわかるとゾッとする3分後の恐怖』シリーズ (似鳥連)

後からじわっとくる怖さ。イラストも多くて読みやすい。怖い話を少しずつ味わいたい人向け。



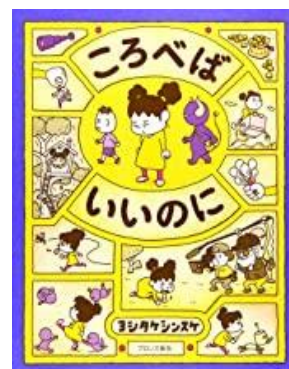
『1日のおわりにもふもふタイム』 (松原卓二)

とにかく疲れた時にいやされる動物の写真集。他にも写真集がありますが、こちらが人気です。



『死ぬかと思った』シリーズ (林 雄司)

「ハプニングにあって死にかけた」「恥ずかしくて死にそう」など「死ぬかと思った」実話を集めた本。8割は笑える話です。



『ころべばいいのに』 (ヨシタケシンスケ)

ヨシタケシンスケさんの本は人気です。かわいい絵も魅力ですが、内容が深い…。絵本=小さい子どものものではありません。本が苦手な人は絵本がおすすめ。